

令和4年産雑豆の作付面積

(公財)日本豆類協会

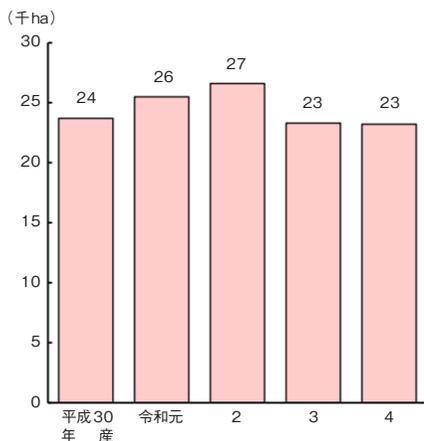
農林水産省大臣官房統計情報部では、令和4年10月28日付けで「令和4年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積」について公表しました。ここではその調査結果から雑豆に関する部分を抜粋して、下記のとおり紹介します。

1. 小豆（乾燥子実）の作付面積

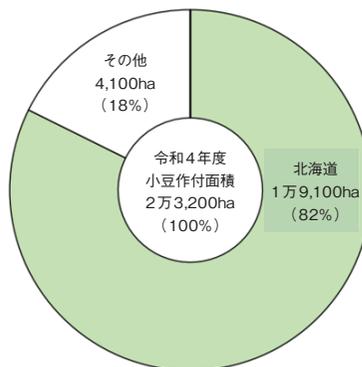
小豆の作付面積は2万3,200haで、前年産並みとなった。

主産地である北海道の作付面積は1万9,100ha（全国の約8割）で、前年産並みとなった。

小豆の作付面積の推移(全国)



小豆の都道府県別作付面積及び割合

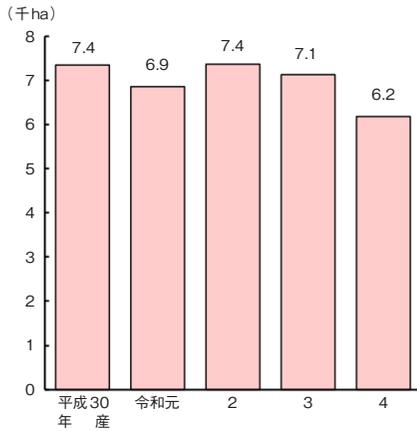


2. いんげん（乾燥子実）の作付面積

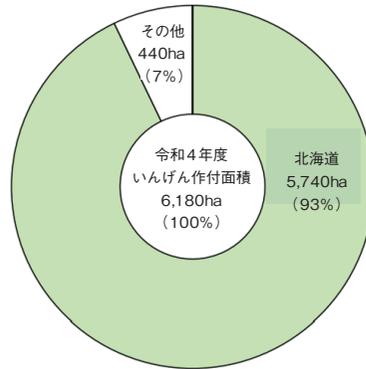
いんげんの作付面積は6,180haで、前年産に比べ950ha（13%）減少した。

主産地である北海道の作付面積は5,740ha（全国の約9割）で、他作物への転換等により、前年産に比べ920ha（14%）減少した。

いんげんの作付面積の推移(全国)



いんげんの都道府県別作付面積及び割合



(参考)

令和4年産小豆(乾燥子実)の作付面積

全国・主産県	計			田			畑		
	作付面積 (ha)	前年産との比較		作付面積 (ha)	前年産との比較		作付面積 (ha)	前年産との比較	
		対差 (ha)	対比 (%)		対差 (ha)	対比 (%)		対差 (ha)	対比 (%)
全国	23,200	△100	100	3,400	20	101	19,800	△100	99
うち北海道	19,100	100	101	1,300	30	102	17,700	0	100
滋賀	180	△9	95	171	△9	95	9	0	100
京都	458	0	100	437	1	100	21	1	95

令和4年産いんげん(乾燥子実)の作付面積

全国・主産県	計			田			畑		
	作付面積 (ha)	前年産との比較		作付面積 (ha)	前年産との比較		作付面積 (ha)	前年産との比較	
		対差 (ha)	対比 (%)		対差 (ha)	対比 (%)		対差 (ha)	対比 (%)
全国	6,180	△950	87	273	△17	94	5,910	△930	86
うち北海道	5,740	△920	86	233	△13	95	5,510	△910	86
うち金時	4,120	△710	85	nc	nc
手亡	1,320	△180	88	nc	nc

注:「金時」、「手亡」とはいんげんの種類を示す。なお、「金時」には「きたロッシ」は含まれていない。